

令和 6 年度 島根県臨床内科医会総会、学術講演会 報告

令和 6 年 4 月 22 日 (月) 午後 7 時 00 分～
於；島根県医師会館、ハイブリッド開催 (Zoom)

1. 総会

出席者 会場 10 名、Web 20 名

1) 会長挨拶

2) 議事

- ① 令和 5 年度事業報告および中国四国ブロック会議報告 (資料 1-2、1-3)
- ② 令和 5 年度収支決算報告 (資料 2-1、2-2)
- ③ 令和 6 年度予算案 (資料 31-、3-2)
- ④ 令和 6 年度会務・事業予定 (資料 4)

について了承されました。

3) その他

- ① R6 年 3 月 6 日時点での島根県及び日本臨床内科医会会員数 85 名 (資料 1-1)
- ② 日本臨床内科医会代議員および参与 (資料 1-4)
- ③ 本田正明先生、令和 5 年度地域医療功労賞受賞のお知らせ (資料 1-5)
- ④ 日本臨床内科医会地域会員増強担当者推薦依頼について、漆谷義徳先生を推薦 (資料 5) が報告されました。
- ⑤ 令和 6 年度より本田正明副会長が退任され、古田賢司先生が新副会長に就任いたしました。

2. 学術講演会

出席者 会場 14 名、Web 31 名

座長；島根県臨床内科医会 会長 小林 祥泰 先生

演題「時間ホルターと AI が切り拓く『隠れ心房細動』の診断・治療～隠れ心房細動が検出される脳梗塞例の特徴」

演者；一宮西病院副院長兼脳神経内科部長 山口啓二先生

数日にわたる長時間ホルターと AI による解析で、ESUS (塞栓源不明脳塞栓症) の一因となる潜在性発作性心房細動が検出可能となったことなど、興味深いお話をいただきました。